

ものづくりで絆を深める

あつぎ市民交流プラザで少年少女フェスティバルを開催



しおり作りを楽しむ参加者たち

親子4人で参加した後、閉貴満さん（40・妻田西）は「親子で一緒に作ることで、子どもが工夫している姿を見られてうれしかった。また参加したい」と話しました。

26回目となる今回のスローガンは「楽しく作って遊ぼう」。参加者たちは、青少年指導員と市内の中学生・高校生が務めるジュニアリーダーの手ほどきを受けながら、風車や割り箸鉄砲、たこ、押し花のしおり、缶バッジなどを作りました。

物作りを通して子ども同士や親子の絆を深めてもらおうと、あつぎ市民交流プラザで「少年少女フェスティバル」を開催しました。子どもや保護者約1000人が、紙や割り箸などを使った工作を楽しみました。

新鮮な食材が集う

荻野運動公園で夕焼け市が始まる



初日の4月12日には約600人が来場

市内で生産された野菜や加工食品を販売する夕焼け市が、荻野運動公園で始まりまし。11月1日までの毎週水曜17時から、16店舗が出店。季節に応じた採れたての農産物などを販売します。夕焼け市は、地産地消の促進や生産者と消費者の交流を目的に1999年に始まり、今年で25年目を迎えました。開催に当たり夕焼け市出店者組合の大貫浩一組合長は「昨年はコロナ禍の中でも、皆さんの協力で開催できた。今年もより多くの方に来場してもらえると嬉しい」と話しました。夕焼け市では、季節に応じた特別フェアを開催。割引や特典のプレゼントなどのサービスを企画しています。



厚木の花を多くの方に手に取ってほしい

厚木産のカーネーションを贈呈

市内では、カーネーションだけでなく、バラやシクラメンなど、多くの品種が栽培され、地域の農産物直売所などで購入できます。

贈呈は、市内で栽培されている花を多くの市民に知ってもらうために市園芸協会花き温室部会カーネーション部会が実施。贈呈に訪れた大貫亘部会長は「カーネーションは色が豊富で香りもほとんどなく、管理しやすいのが特徴。多くの人に手に取ってもらえたらうれしい」と話しました。



花束を市長に手渡す大貫部会長（左）

5月14日の母の日を前に市内の花き生産者が市役所を訪れ、最盛期を迎えたカーネーションを山口貴裕市長に贈呈しました。花は市役所本庁舎の1階に飾られ、訪れる人の目を惹きました。

色とりどりの花で来場者を笑顔に

緑のまつりを4年ぶりに開催

身近な場所で花や緑などの自然に触れられる「緑のまつり」を、厚木中央公園で開催しました。会場では、ステーションや花植物の即売会などを実施し、家族連れなどでにぎわいました。祭りは、1973年に始まり、46回目の今回は感染症の影響で4年ぶりの開催となりました。アルプホルン演奏をはじめ、コケ玉教室や市の花「サツキ」の展示会・苗の無料配布などを実施。ステージでは、団体によるダンスや演奏などが披露され、会場を盛り上げました。



市内産の花で彩られた会場

親子で遊びに来ていた三浦理菜さん（29・毛利台）は「市のお祭りには引越してきて初めて参加した。少しずつ日常に戻ってきたことを実感できてうれしい」と笑顔を見せました。

第3回 みんなで目指そう カarbonニュートラル

カーボンニュートラル（CN）とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

今月の挑戦 古い家電を買い換えよう



買い換えの際は省エネ効果を表す「省エネラベル」を確認

家庭の省エネには、毎日使う家電の買い換えが効果的です。エアコンを省エネタイプに換えた場合、10年前の物と比べると、二酸化炭素（CO₂）は年間で約50キログラム、電気代が年間約2500円削減できます。

さらに、常に稼働している冷蔵庫も効果が高く、CO₂は約112キログラム、約6000円削減できます。省エネ家電への買い換えを考えてみませんか。

CNプラットフォームでは、家電買い替えの効果などをより詳しく掲載しています。

環境政策課 ☎225-2749



春キャベツとニンジン、大根、トマトにイチゴや豆腐、赤飯。日曜の朝6時、家族と一緒に厚木市民朝市の会場を歩くと、持って来た手提げ袋はすぐにいっぱいになります。市内で採れた旬の野菜などを選び、夕焼け市、各地区にある直売所など、地元産の農産物を手にとれる場所が身近にあるのも厚木の魅力です。皆さんもぜひ、地元で採れたものを食卓に取り入れてみてください。私のように「今週は何を買おうかな」と、考える楽しみが増えますよ。



市民朝市は文化会館の駐車場で開催

早朝から温かい気持ちになり、地域の宝であり、文化だと実感しています。市内では、野菜や果物、花の栽培をはじめ、養豚、酪農と幅広い農業が営まれています。朝市だけでなく、夕焼け市、各地区にある直売所など、地元の農畜産物を手にとれる場所が身近にあるのも厚木の魅力です。皆さんもぜひ、地元で採れたものを食卓に取り入れてみてください。私のように「今週は何を買おうかな」と、考える楽しみが増えますよ。

ます。現在の出店者数は20店舗。総菜や麺類などの加工食品も人気で、市民の台所として親しまれています。店頭に並ぶ品は、市内産の物ばかり。まさに地産地消ですね。毎週多くの人でにぎわっていて、出店者の皆さんとお客さんが笑顔で言葉を交わす光景を見ると、